

第十四號

# 少年

茨城県民間保育協議会青年部  
広報委員会



## 柳澤克彦

茨城県民間保育協議会青年部部长

平成30年度は、近年保育を取り巻く新制度の導入が加速する中、子育て支援について伴う、幼児教育の無償化、待機児童の解消など、さらなる変革の時期を迎え、どのように園を円滑に運営できるかが求められてきております。

このような制度改革が行われる中、私たち茨城県民間保育協議会青年部として、出来るだけ多くの幼児教育・保育者が茨城県に就職を求めることを重きにおき、この保育士不足といった問題に対して、どう取り組むかが重要視されます。今年度も青年部の事業を進める上でも、保育の担い手となる人材の確保、潜在保育士の確保を考え、恒例となる『いばらき民間保育園就活応援セミナー』を継続し、少しでも保育士の確保になるよう努め、待機児童の解消にも繋げて行きたいと思っております。

また、青年部の各委員会活動が、就活応援セミナーの事業中心となる年間のスケジュールとなっておりますので各委員会の活動を活性化できるような、各委員会の調整を図り、遂行して行きたいと思っております。

そして、新たな部員の入部を求めて、多くの保育業界の青年を集め、次世代を担う青年たちの活躍の場を作り上げられるような環境を整え進めて行き、部員の先生方のご尽力を賜り、ご支援ご協力を求めて行きたいと思っております。会員園の後継者の方がおりましたら是非、この青年部に入部していただき、次世代を担う若人が集まり、未来を担う全ての子供たちのために最善の利益を求め、保育を学び、語らい、自己の成長も求め、共に活気あふれる活動をして行きたいと思っております。歴代の先輩方に尊敬の念を持ち、新しい仲間も集い、伝統のある茨城県民間保育協議会の青年部として、運営して行きたいと思っておりますので、今年度も一年間青年部の活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 松山圭一郎

茨城県民間保育協議会青年部副部長

昨年度より青年部副部長・全国私立保育園連盟青年会議 茨城県代表幹事を務めさせて頂いております、まつやま大宮保育園の松山圭一郎と申します。昨年からのこの役を仰せつかり、2年目を迎えました。昨年は代表幹事として全国組織の活動に参加させて頂く機会が多々あり、大変勉強になった一年でした。保育士不足は全国の最重要課題であること。また、少子化問題は一部の都市を除き、相当な危機感を持ってそれぞれが対応策を練られていることを肌で感じました。茨城県内においても同様の状況であり、保育士不足や少子化問題は避けて通れません。そんな中、県内でも市町村単位での処遇改善合戦がスタートする雰囲気も感じられる昨今、皆様もいろいろなお考えをお持ちではないでしょうか。これからの茨城子育て環境向上を担う私たちがもっともっと本音で語り合い、切磋琢磨していかなければならないと個人的には感じています。部員の方は引き続き積極的に参加して頂き、まだ未加入の方は是非加入して頂き、茨城の子どもたちのために一緒に保育・労働環境の質を高めていきたいと思います。



## 川又朋子

茨城県民間保育協議会青年部副部長

昨年度より青年部副部長・日本保育協会青年部茨城県支部部長を務めさせて頂いております、富士見ヶ丘認定こども園の川又朋子と申します。昨年度を振り返ってみると、県青年部と全国組織の活動を通じ、組織の在り方、自身の課題がみえ、多くの学び得ることができたと思っております。青年部活動は年月を重ねれば重ねるほど、お金では買えない自分の居場所や、同じ境遇の仲間との活動は、本当に貴重なものと実感しています。待機児童問題が大きく取り上げられる一方で、深刻な少子化問題があり、全国共通問題が保育士不足。そんな状況を打破すべく、国の政策は処遇改善や保育料無償化など、働く側と利用する側双方に動きを出し始めました。どちらも「お金」の変化です。

ただ、問題解決になる政策なのか、疑問に感じるのは私だけでしょうか。茨城県各地で保育について真剣に向き合っている仲間と共に、さまざまな疑問や不安を語り合いながら、こども達と保育現場にとってより良い環境を作れるよう組織力を高めていきたいですね。

# 委員長あいさつ



## 雨谷鉄平

茨城県民間保育協議会 調査研究委員会委員長

今年も、調査研究委員会の委員長を務めさせていただくことになりました、いばらき中央こども園の雨谷です。新制度、社会福祉法人制度改革、処遇改善、保育士不足問題等々、今日の保育を取り巻く環境の変化に日々対応されている諸先生方の少しでも役に立てるような、調査をできればと考えております。まだまだ、未熟者ですので先生方にお力添えをいただきながら、今年度も誠心誠意取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



## 滝田昌弘

茨城県民間保育協議会 広報委員会委員長

広報委員会の委員長を務めます、つくば保育園の滝田昌弘です。今年の4月に保育指針改定がありました。保育指針改定では、小学校教育との接続の強化や乳児からの教育の重視、職員の資質向上が求められております。また、来年10月より幼児教育無償化が予定されております。幼児教育無償化により保育現場の環境が変わってくるのが予想されます。広報委員会では、Hotな話題を「礎」に盛り込み、情報発信に取り組んで参ります。1年間よろしくお願ひします。



## 中西良環

茨城県民間保育協議会 渉外委員会委員長

昨年度に引き続き渉外委員会委員長を務めさせていただきます、認定こども園大野めぐみ保育園の中西良環です。よろしくお願いいたします。本年度は新入部員の方も数名入部し青年部の活性化が期待されます。渉外委員会ではコミュニケーションを通じて青年部員と楽しく信頼関係を深め様々な情報などを交換できる機会を作ればと考えております。腹を割って話を出来たり、先輩方に分からないことはアドバイス頂いたり、助けてくれたりと青年部だから出来る事がたくさんあります。まだまだ、勉強不足で分からないことだらけですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



## 堀川宗愛

茨城県民間保育協議会 研修委員会委員長

昨年、研修委員会の委員長を仰せつかり、2年目に突入しました。残り少ない青年部生活を楽しみながら務めさせていただいております。昨年は2月にHCJ2018 厨房設備機器展の視察を行い保育園、認定こども園のハードの部分の視察研修しました。今年度は保育園、認定こども園のソフトの部分の視察研修として、2年がかりで考えてきた海外視察研修を行いたいと思っております。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

## より働きがいのある環境を目指して

## ICTを活用した業務省力化

まつやま大宮保育園  
園長 松山圭一郎



「業務省力化」というと、補助金を活用してパソコンを購入するという印象をお持ちの方もいるだろう。しかし、現在、保育現場の業務省力化のためには、様々なソフトウェアやサービス、クラウド等を駆使するICT化が求められている。一つのソフトウェアですべてが賄えれば一番良いのだが、保育現場の業務は現在非常に幅広いものとなっている。今回は、守谷市と龍ヶ崎市で4ヶ所の保育園を運営する、社会福祉法人山ゆり会法人本部長 松山圭一郎氏(まつやま大宮保育園長、民保協青年部副部長)に法人での取り組みについてお話を伺った。

――まず、法人の理念を教えてください。

法人の理念は「すべての子どもの幸せ願って」です。子どもたちの“生きる力”を育むための保育を実践しています。子どもたちや保護者、地域の皆さまと共に成長しあえる関係でありたいと思います。

――法人本部長として、また園長としての役割は？

法人業務全般、各園の運営管理など法人運営がスムーズに行えるようにサポートしています。園長としてはスタッフや子どもたちの近い存在でありたいといつも思いながらも、スタッフ自身主体的に仕事ができるように現場を尊重しながらなるべく口を出さないようにしています。草取りも結構好きです(笑)

――業務省力化についての基本的な考え方を教えてください。

保育士の処遇改善の重要性がクローズアップされていますが、処遇というのはお給料だけでなく、働きやすい職場、働きがいのある職場、そういったことも当然含まれてきます。そのためには、書類作成に追われて子どもや保護者と向き合う時間がとれないということがないようにはなりません。そのため、無駄な事務作業や製作物に関する考え方を徹底的に見直し、各園で2、3重に作業していることなどを無くすよう努力しています。そのためにはICT活用は必須と考えています。

――システム運用のポイントは何か。

いろいろ便利なサービスがたくさん出ていますが、それぞれ一長一短です。それらをどのように利用するか、法人内で共通のルールを定めることで有効に活用できます。例えばスケジュール管理のシステムについては、「管理画面で確認して、対象者のスケジュールが空いている時間帯には、誰でもスケジュールを自由に入れて良い」というルールを設定しておけば、有効

にシステムを利用できます。そうしておかないと、結局、みんな打ち合わせをしてスケジュールを設定することになり、システムを利用するメリットが少なくなります。

――スケジュール管理には何を使用していますか。

「サイボウズ」を使用しています。もともとはデータベースソフトで、他にもたくさん機能があるのですが、今のところ法人内ではスケジュール管理や会議室等の予約に特化して使用しています。ルール設定は先ほど申し上げたとおりで、例えば、私が出張で不在のときに、私と面会したいという連絡があれば、連絡を受けた者がサイボウズの画面を見て、私の空いている時間帯に面会を設定して良いというルールになっています。

――4園あると思いますが、パソコン内のデータはどうしていますか。

クラウドサービスを利用しています。各自のパソコンにデータを保存するのではなく、すべてのデータをクラウドに各園や職種ごとのファイルを作成して保存するようにしています。各園等から必要なデータにアクセスできます。もちろん、セキュリティが必要なデータはフォルダごとにアクセスを役職等で制限しています。基本的に残業、休暇の申請や備品購入申請、稟議書申請・決裁等もクラウドに保存したデータファイルで行っています。

――データファイル上での承認はどうするのですか。

「電子印鑑」を使用しています。書類を持ち回らなくて良いので、便利です。申請もしやすいですし、私は常にPCを持ち歩いているので出張先からでも決裁印が押せるのがメリットです。スタッフの業務をスムーズに進行させるのも管理者の役目と考えています。

――写真の管理はどうですか。

一時的にはクラウドに保存しますが、データ量が莫大になるので過去のは定期的に別のハードディスクに移動して保存しています。写真販売は「るくみー」を使用しています。過去は、カメラで撮った写真をPCに取り込み、その上でクラス別や園児別の仕分け作業をするなど、撮影後のデータ整理に非常に手間がかかっていました。「るくみー」では、撮影した写真のアップロードまで自動化できる簡単アプリ撮影が可能で便利になりました。ただ、このシステムにも課題があるので他社製品との精査中です。

---撮影には何を使用していますか。

今は、ほとんどiPhoneを使用しています。例えば、私が園長を務めるまつやま大宮保育園では園内に合計12台のiPhoneがあり、事務所や各クラスに配置しています。これは、写真撮影だけでなく、散歩や緊急時の電話、「LINE」でグループをつくり、申し送りやニュースなどの情報共有にも使用します。また、連絡帳アプリ「キッズリー」でも使用しています。

---キッズリーについても教えてください。

基本は連絡帳機能や登降園管理等を行なうスマホアプリです。朝のお休み等の電話連絡はほとんどなりません。園内の情報共有もできますので、朝の忙しい時間帯でも連絡に追われず子どもとしっかり関わることができるようになりました。連絡帳機能も便利です。保育士が入力した内容を保護者がお迎えに来る1時間前に自動送信され、保護者はお迎え時には内容を把握できているので、子どもや保育士との会話も増えました。また、1児童につき4名まで登録が可能なので父・母・祖父母間のコミュニケーションも深まりました。クラス単位での活動を伝える機能、カレンダー機能、個別・全体メール連絡機能もとても便利です。

PCでも内容を見ることができるので管理もしやすいです。

---保護者とのコミュニケーションのためのツールは他にありますか。

「クエスタント」を利用しています。これはウェブベースのアンケートシステムです。行事後のアンケートや年度末の満足度アンケート、GWやお盆、年末年始などの登園数確認など多岐に利用しています。紙ベースの時よりも回収率や集計業務が格段に改善しました。

これもキッズリーからURLを一斉送信すれば済むのでとても簡単です。

---アンケートで決めることに不安はありませんか。

これも、ルール設定に関わることですが、あくまで「参考」にするようにしています。すべて多数決で決めるわけではありません。ただ、保護者に説明するときに、「こういう意見が多かった」と言うと納得していただけることが多いのも事実です。

---保護者もいろいろな意見を表明してくるなかで、保育士のメンタルケアも気になります。

そのとおりです。「キッズリー保育者ケア」で対応しています。先程の「キッズリー」のオプションですが、まったく別のサービスと考えると良いくらい充実しています。保育士が定期的(当法人の場合は年4回)にスマホでアンケートに回答するだけで、園全体や個々の内面状態を示す詳細なレポートが作成され、それを基に上司と部下の面談に活用しています。保育士のモチベーションのアップや、個人の課題・問題の把握、次回までの目標設定、園全体の課題解決などに活かしています。保育士の評判も上々です。

---電話はどうしていますか。

園内は、いわゆるビジネスホン(多機能電話)です。事務所や各保育室等に設置しています。拠点間は、園で契約している携帯電話を主に使用しています。通話が無料なので(笑)。園内のリアルタイムの連絡は、トランシーバーを使っています。小型のものをほぼ全員がイヤホンをつけて使用しています。タイムラグが無いこと、一斉に連絡ができること、大声を出さなくて良いこと、その場から離れなくて良いこと、子どもの遊びを止めることがないことなど、非常に便利に利用しています。

---広告はいかがですか。

より多くの方に当法人の保育を知っていただくために、SNS(フェイスブック・Instagram)やホームページの「ブログ」などで定期的に情報発信したり、求人やイベントのPRには「フェイスブック広告マネージャー」を使用しています。ターゲットの設定が細かくできるので、広告料金を有効的につかうことができます。最近始めたことは子育て支援センターの利用者向けに「LINE@」を利用してイベント情報や活動報告、空き状況などを伝えています。

---こんなに全部教えていただきありがとうございます。

参考にしていただければと思います。いろいろなサービスがあるので、これが一番ということはないと思います。現在利用しているサービスですべて満足というわけにはいきません。やはり使用してみて、不満な点や改善してもらいたい点もあります。サービスによってメリット、デメリットがあるので、良いサービスがあれば、いろいろ試してみると良いと思います。価格についても思ったより安価なものや無料で利用できるサービスもありますので、常にアンテナを高くして情報収集することが大切です。最後にもう一つ!まさに今、試験的に行っているのですが、保護者からの現金払いを無くすために「AirPAY」というサービスを使い始めました。これは保護者がクレジットカード・電子マネー等で支払いを行うシステムです。簡単にいうとお店にあるレジを園に試験導入したということです。現金の取り扱いにはリスクや入金の手間などもあるので、手数料が少し掛かりますが効果があると考えています。将来的には現金を一切扱わないで集金業務を行えるようになるために、ある会社からの依頼で今回の試験を行っています。以上です。

---どうもありがとうございました。

(聞き手 長谷川夏生)

## 第7回・第8回いばらき民間保育園

## 就活応援セミナー2018 総括

いばらき民間保育園就活応援セミナー  
実行委員長 清水利春



平成30年7月21日(土)に第7回、8月19日(日)に第8回いばらき民間保育園就活応援セミナー2018を開催させて頂きました。皆様方からの深いご理解と多大なるご協力のお陰で無事に今年も全ての就活応援セミナーを開催する事が出来ました。この場をお借り致しまして、改めて心から御礼を申し上げます。

今年度は実績として、第7回の土浦会場では参加者142名(学生141名・潜在保育士1名)、ブース出展者31園、又、第8回水戸会場では参加者113名(学生111名・潜在保育士2名)、ブース出展者33園のご参加を頂きました。その他にも専門ブースとして、先輩保育士相談ブース、ハローワーク相談ブース、茨城県福祉人材センター相談ブースを設置させて頂きました。

昨年の第5回から実行委員長という重責のある役をお預かりさせて頂き、今期、合計4回の就活応援セミナーに携わらせて頂きました。実行委員長としての役をお預かりさせて頂きに辺り、自分自身にテーマを設定していました。それは「保育業界の魅力発信」と「青年部員への成長の機会の提供」の2つでした。

現在では人口減少に伴い、保育業界をはじめ様々な業界で人材不足が進んでいます。そういった現状を踏まえ、保育士になりたいという人材に保育の魅力を伝えることはもちろん、「保育業界自体の魅力」を発信し続け、早くから保育業界に携わりたいという人材を育てていくことが急務であると実感しています。まずは就活応援セミナー自体の存在をもっと広く周知し、より多くの学生や潜在保育士、更には一般の方でも興味を持って頂くことが重要だと考え、メディア戦略として2本の柱を立てました。一つ目は初の試みとして、広告費を計上しFacebookやTwitter、InstagramなどのSNSを活用したPRを実行しました。初回の就活応援セミナーから各養成校との参加協力体制を構築して参りましたが、中には諸事情により参加協力を頂けない養成校もあることも事実です。そういった現状を踏まえ、養成校を通さずとも学生本人に就活応援セミナー自体の存在を知って頂くことやセミナーの存在をより多くの一般の方に周知出来る体制の構築を行いました。二つ目として、新聞やTV、オンラインメディアに就活応援セミナーに関する記事を取り上げて頂くことです。セミナー自体への参加にすぐにつながらずとも、就活応援セミナーを開催する背景やその魅力の発信を継続して行っていくことは非常に重要だと考

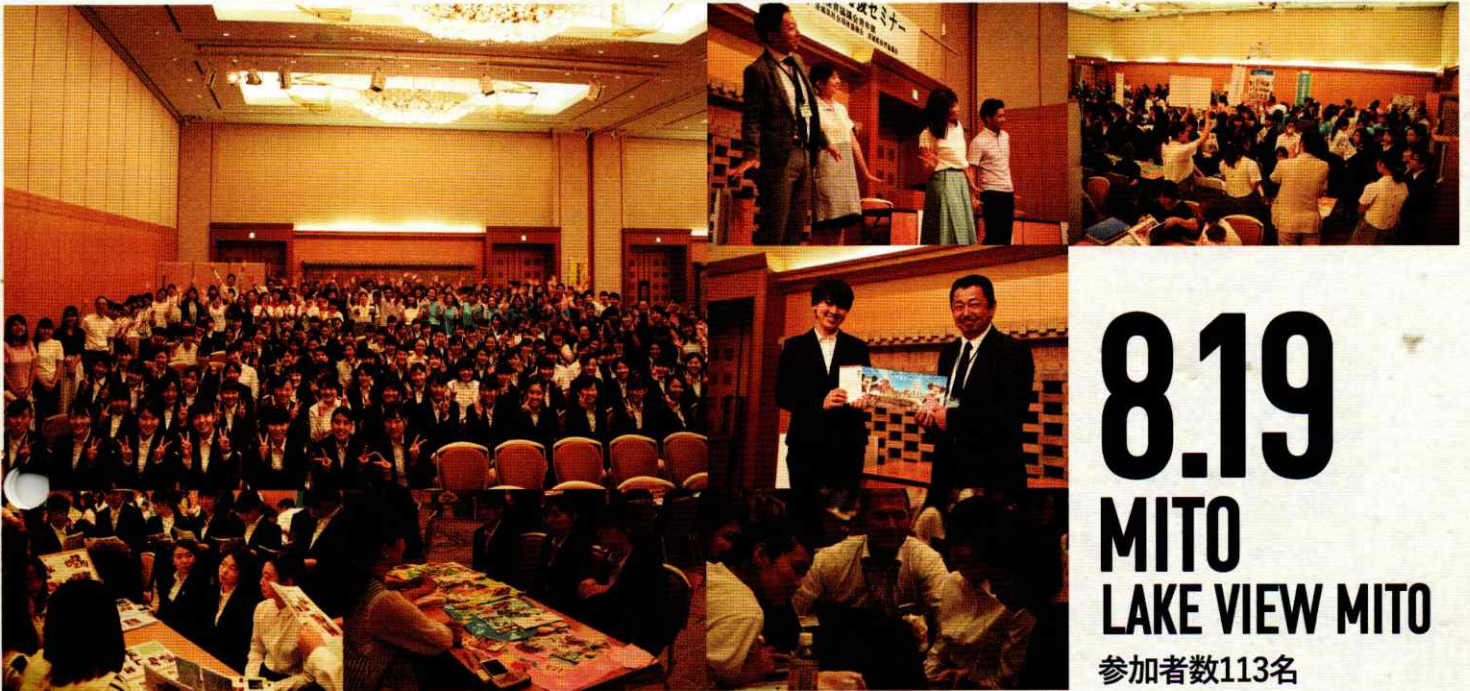
えます。今年度は就活応援セミナーという機会を通じて、茨城県における深刻な保育士不足の現状と課題について茨城新聞社をはじめとする多くのメディアで掲載を頂きました。今後もメディアを通しながらより多くの養成校の学生や潜在保育士、更にはこれから保育士になりたいと思ってくれる若い世代から「あの就活セミナーの記事だ!参加してみたい!」と思わせる事業に更に成長させていきたいと考えます。

テーマの2つ目ですが、「青年部員への成長の機会の提供」です。就活応援セミナーをただ単に開催するという事ではなく、そこに携わった青年部員の学びや成長に貢献していくことも実行委員長としての大きな役割であると考えます。今まで経験した事がない役割への挑戦、その責任と責務を全うして初めて、大きな達成感と成長が得られること、そして青年部員同士の強い絆が生まれると確信しています。今期は上記にも掲載させて頂きましたが、「経験したことの無いことへ挑戦してみる」ことをテーマとして、SNSを使ったPR、TVなどへのメディアへの出演、メディアとの交渉、参加者や出展ブース者へ対するWEBアンケートの実施、参加者がより多くのブースを回って頂ける仕組み作りと参加動員率向上の一環として豪華賞品抽選会の実施、更には個性溢れるブース出展者の1分間PRなど多くの初の試みに挑戦してきました。後藤先生や滝田先生のように大きな舞台で初の司会へ挑戦するなど、あえてその役目をやれる方がやるのではなく、少しだけ勇気を持って新たなことに挑戦出来る、そんな体制にしていきたいと考え実行委員長をお預かりさせて頂きました。実行委員会の皆様方には無茶振りをしてきましたが、それを寛大な心で快く引き受けて下さり本当にありがとうございました。

末筆となってしまいましたが、今後も就活応援セミナーが開催趣旨の根底でもある「保育現場の更なる魅力の発信、茨城県内における安定した雇用促進、保育を通した明るい日本社会の実現」、そして何よりも明るい日本の将来を担う子供たちの成長に少しでも貢献出来ることを祈念しています。至らない実行委員長ではありましたが、深いご理解と絶大なご協力を頂きました実行委員会の先生方、親会の先生方、そしてブース出展をして頂きました園の先生方、この事業に携わって頂きました全ての方々へ心より深く感謝を申し上げます。

# 7.21 TSUCHIURA URARA

参加者数142名



# 8.19 MITO LAKE VIEW MITO

参加者数113名

## いばらき民間保育園就活応援セミナーって?

茨城県民間保育協議会主催の保育士志望の学生、求職中の潜在保育士を対象とした、民間保育園の合同説明会です。今年で5年目、8回開催しています。保育士不足による保育の質の低下が問題視される中、少しでも多くの保育士と保育園の出会いの場を、という目的で開催されています。セミナーやパネルディスカッション豪華景品抽選会や、参加園による1分間PR、SNSでの告知など新しい試みを加えつつセミナーの活性化にむけて活動しています。

TWITTERアカウント: [@hoikuenshukatsu](https://twitter.com/hoikuenshukatsu)

HPアドレス: <https://ibarakiminho.jp/recruit/>

## QandA

# どうだった？就活応援セミナー

### CASE1 学生Aさん 学生Bさん

Q 就活応援セミナーに参加してどうでしたか？

A 学生Aさん：自分ではなかなか足を運べない地域の園さんも参加されていて、すごく参考になりました。

学生Bさん：同じく、エリアが違う園さんの雰囲気を知ることができてよかったと思います。

Q 見学に行ってみたい保育園・こども園はありましたか？

A 学生Aさん：去年(3年次)もこのセミナーに参加させていただきました。同じ園さんの話を聞いたので今年は見学に行かせていただこうかと思えます。

学生Bさん：私は土浦の方でも参加させていただいたのですが、この間、土浦にあった園さんの方に見学に行かせていただきました。今回はその姉妹園さんが来ていたので、検討中です。

Q 就職するにあたり心配なことや不安なことはありますか？

A 学生Aさん：公務員試験や幼稚園も並行しているため、同時に就活していることに不安があります。

学生Bさん：ずっと公立の保育園に実習に行っていたので、私立の雰囲気がわからなくて不安です。

Q 保育園に就職するにあたり、お父さんやお母さんのご意見はありますか？

A 学生Aさん：就活するにあたって好意的に支援してもらっています。また、同世代の友達はすでに保育士として勤務していて、現場の魅力などを聞いたりしています。

学生Bさん：院に行くか、就職するかで悩んでいます。母は進学を後押ししていて、父は業務内容をよく知らないので、現場への就職には乗り気ではないみたいです。



学生さん



常磐大学・常盤短期大学キャリア支援センター  
石田脩平さん

### CASE2 常磐大学・常盤短期大学キャリア支援センター 石田さん

Q 参加して如何だったでしょうか？

A 就職課の職員が園や現場の雰囲気を体験することはほとんどありません。学生に園を紹介していく立場としては、園の雰囲気や先生方の個性など、紹介させていただくうえで非常に参考となる機会になっています。

Q 昨年の就活応援セミナーの反応は如何だったでしょうか？

A 何人かの学生からは、「就活セミナーでその園を知った。面白そうだったので就職してみたい」との声が上がっていました。

Q 就活応援セミナー開催の告知方法はどのようにして頂いているのでしょうか？

A 毎年6~7月に学科の方で幼稚園・保育園の就職ガイダンスを行っています。就活の流れや、注意事項と合わせて、こういったイベントの告知を行っています。

Q 学生さんが就職に関して不安に思っていること

A 学生によって不安に思う点は様々ですが、1、園の雰囲気が自分に合うかどうか 2、人間関係が自分に合うかどうかといった内容が多いです。賃金面についても相談はありますが、そこは話し合いながら相談を行っているので、納得してもらえています。

Q 企画の内容については如何でしょうか？

A ・1分間PR 各園の個性がものすごく出ているので、できればすべての園さんにやっていただけたら、と感じています。  
・パネルディスカッション 男性や女性、新人さんからベテランの先生まで様々な層の先生が登壇していただいているので、学生さんも将来を非常にイメージしやすい機会では、と思っています。

インタビュアー 滝田昌弘  
後藤貴哉



## 無償化により戦国時代へ・・・?

広報委員会

委員長 滝田 昌弘



2017年の出生数は94万1千人で、2年連続の100万人割れとなりました。約40年前の第二次ベビーブームのころは年間200万人を超えていたのですが、今やその半分以下に。少子化はとどまるところを知らず、どんどん進んでいます。

そこで政府は、人生100年時代を見据え、人づくりこそが時代を切り開く原動力として、「人づくり改革」の柱の一つとして「教育の無償化」をかかげました。

2020年度までに、3歳児から5歳児までのすべての子ども達の保育園・認定こども園・幼稚園の費用を無償化とする。0歳児から2歳児についても、所得の低い世帯に対して無償化とする。

※幼児教育・保育無償化が2019年10月に前倒してスタート予定となっています。

### ■幼児教育・保育無償化の内容について(予定)

3～5歳の保育園・認定こども園・幼稚園

認可・・・全員無料(ただし幼稚園保育料の無償化上限額は25,700円)

認可外・・・上限 月37,000円の支給

0～2歳の保育園・認定こども園・幼稚園

認可・・・住民税非課税の世帯が無償化

認可外・・・住民税非課税の世帯が上限 42,000円

預かり保育も対象(幼稚園の預かり保育、ベビーホテルなど)

※幼稚園の入学金や園で使用する寝具などのクリーニング代、冷暖房費、給食費、制服などの費用については対象となっていません。

3歳児から5歳児は全員対象となり、幼児教育無償化が2019年10月からスタートする予定となりました。家庭の懐にはとても優しい制度に思えますが、問題点もあります。

### ■筆者が思う幼児教育・保育無償化の問題点

- ・財源の確保(来年10月に増税予定だが、それだけで無償化を支えることは不可能なのでは?)
- ・人材の確保(無償化になることで、さらに保育士の取り合いとなり人材確保の深刻化が進むのでは?)
- ・仕事をすれば「無料で入園できるから」と入所を希望する保護者が増え、待機児童数がさらに増えるのでは?
- ・誰もが希望園に入園できるわけではないので、兄弟で別々の園に通うことになるのでは?
- ・限られた保育士の数、クラス面積で多くの園児の対応をすることにより、保育の質の低下に繋がるのでは?

保育の質が問われる時代へと突入しました。保育業界はまさに戦国時代!! この時代を生き抜くためにも園で「できること」を改めて考えてみてはどうでしょうか?

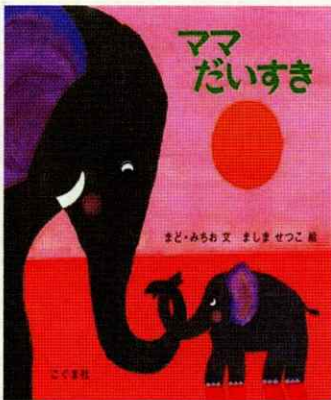
## 園で、家庭で、こころをそだてる 絵本のたのしみ…♪

つくば保育園  
滝田 昌弘



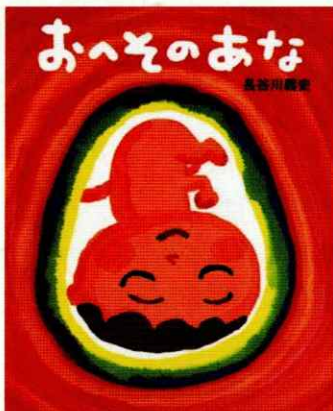
### おまえうまそうだな 著者 宮西達也

物騒なタイトルとは全く異なった内容のお話です。恐竜界の厳しさと、その中で存在する『愛』という感情の奥深さや素晴らしさを『情』から変化してゆくという展開で教えてくれる絵本です。子どもだけでなく、子ども達とかかわる全ての大人に是非ともお勧めの1冊です。



### ママだいすき 作 まど みちお 絵 ましま せつこ

お母さんとお鼻で握手のぞうさん。おっぱいを競うようにみんなで飲んでるぶたくんたち。お母さんになめられて「また べろべろか」と首をすくめるこねこ。水の中から現れたお母さんに喜ぶかばの子。そんな動物の子どもたちがいかにも発しそうなひと言を添えています。どこから読んでも、どこを眺めても、おっぱいの甘いにおいがしてきそう。それでいて、色彩がとっても素敵な絵本です。



### おへそのあな 作 長谷川 義史

子どもが生まれたときの感動がよみがえります。家事や仕事で時間に追われる毎日を過ごしていると、子どもが生まれたときの感動は次第に薄れていってしまうもの。ときにはこの絵本で優しい気持ちに戻りましょう。

ママのおなかから出てきた日とその子の誕生日ですが、おなかのなかでは赤ちゃんが、生まれていく日を待っています。おなかのそとでは家族みんなが、生まれてくる日を心待ちにしながら、準備をしています。おなかの中の赤ちゃんが、そんな様子をおへそのあなから見ていたら？おへそのあなから見える、聞こえる、におう……。そして生まれてくる前の日に、そっとひとこと、聞こえないように言うのです。そのひとことが…感動します。とてもお勧めの絵本です。

## 人材募集について

牛久みらい保育園  
中村 康範

昨年度開催されました、茨城県民間保育協議会主催の「養成校懇談会」の中で、ある養成校における県内の求人倍率が10.8倍という情報を聞いて驚きました。

売り手市場にある今、保育園・幼稚園・認定こども園ではどのようにして人材を集めるのか、各園頭を抱えつつ、早急に取り組まなければならない課題かと思えます。

募集の方法として、各園のHP等への掲載、Facebook・Twitter・Instagram…のSNS活用、ハローワーク登録、求人サイト(求人誌)掲載、就活応援セミナー等の説明会への出展など、さまざまなアプローチの方法があります。

募集をするときのポイントは、当たり前のことですが応募者の「この園で働きたい!」と園側の「この人に自園で働いてもらいたい!」というお互いに“両思い”になれるかということかと思えます。

“両思い”になるためには、お互いをよく知ること、相手を理解することが欠かせません。そのためにも絶対に見逃がせないチャンスは“実習生”です!

実習の短い期間でも、ある一定期間、その園で働くことで実習生が園を知る機会(理念・方針・雰囲気)となり、園も学生を知る機会(仕事・人間性)となります。

また、受け入れの時にも、自園のイチオシの先生の働く姿を見てもらうことで学生が“憧れ”を持ち、就労後のキャリアパスも思い描きやすくなります。

実習を終える頃、学生と園がお互いに“両思い”になって、採用へとつなげていければ、就労後の「こんなはずじゃなかった…退職」もなくなり、きっと長く勤めてくれる戦力になってくれることでしょう。

そして、同じ養成校卒業の先輩が働いている園!ということも学生にとっては就職を希望する理由の一つにも挙がるそうなので、今後へのつながりも期待できそうですね。

人と人とのつながりを大切に、人材募集考えてみませんか?

## 第40回全国青年保育者会議 大分大会に参加して

大宮聖愛保育園  
後藤貴哉

平成30年7月11日~13日の三日間、大分県大分市ホテル日航オアシスタワーにて「第40回全国青年保育者会議 大分大会」が開催されました。直前まで「平成30年7月豪雨」があり、交通機関や天候の影響など不安要素が取りざたされましたが、大会参加者は、参加者300名超と盛夏に負けない賑わいを見せておりました。

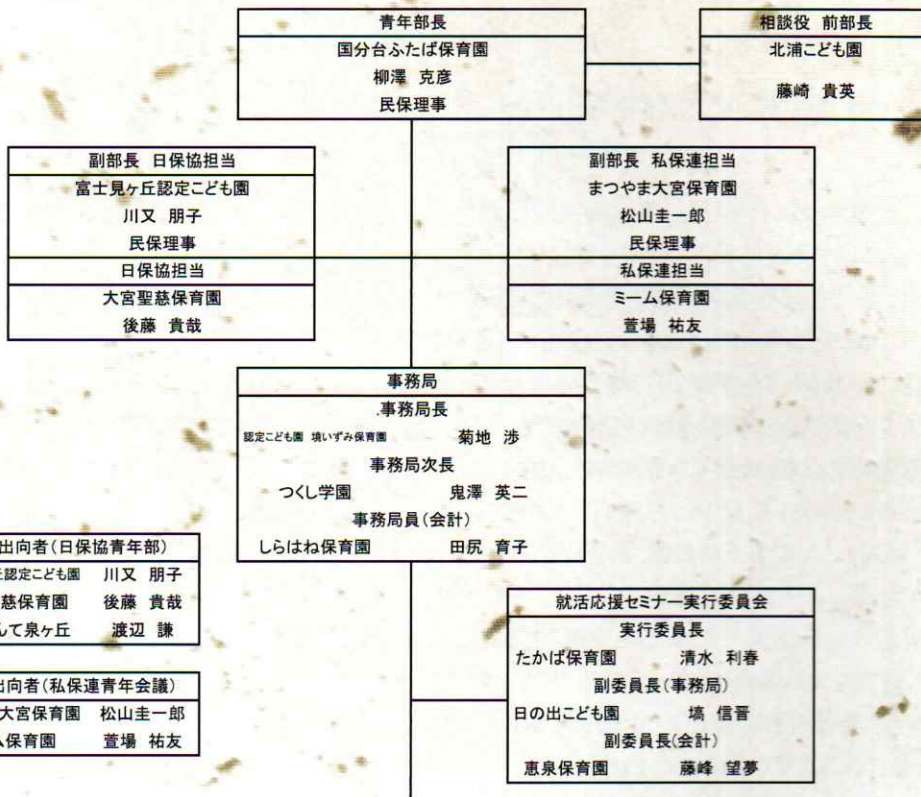
大会の講演で非常に印象的だったのが基調講演Ⅱ 「どうぶつと共に生きる」です。講師の神田岳委氏は九州アフリカ・ライオンサファリの獣医として活躍しており、身振り手振りを有効的に駆使し、私たちに動物と共に生きることの喜び、難しさを面白おかしく、時には感動的に訴えかけてくれました。

大会40周年ということもあり、記念トークセッションとして、現青年部部長 志賀口大輔氏をコーディネーターに、前青年部長 吉岡伸太郎氏、前々青年部長 堀昌浩氏を迎えてここ10年間で起きた様々な保育における変遷を語っていただきました。

大会メインビジュアルには大分県出身漫画家の諫山創氏の「進撃の巨人」イラストを採用するなど、斬新な取り組みが見られ、平成最後にふさわしい、若い力に溢れた三日間となりました。

# 平成30年度 茨城県民間保育協議会青年部 組織図

歴代青年部長	
初代	小林 正男
2代目	山崎 進
3代目	東ヶ崎 静仁
4代目	川崎 誠
5代目	渡辺 信行
6代目	大谷 隆
7代目	細田 峰彰
8代目	藤崎 貴英



広報委員会	調査研究委員会	研修委員会	渉外委員会
<b>委員長</b> つば保育園 滝田 昌弘	<b>委員長</b> いばき中央こども園 雨谷 鉄平	<b>委員長</b> 堀川保育園 堀川 宗愛	<b>委員長</b> 認定こども園 中西 良環
<b>副委員長</b> 真壁保育園 長谷川 夏生	<b>副委員長</b> いずみ保育園 中島 崇子	<b>副委員長</b> あんだんて泉ヶ丘 渡辺 謙	<b>副委員長</b> こぼと保育園 安藤 伸泰
<b>副委員長</b> 串挽保育園 山崎 公蔵	<b>副委員長</b> 認定こども園 すずのき 鈴木 佳祐	<b>副委員長</b> たけのこ保育園 尾見 泰延	<b>副委員長</b> 飯沼保育園 東ヶ崎 拓樹
<b>委員</b> 玉里第二保育園 戸田 見良 中央保育園 香取 秀総 石田保育園 新井 順平 はぐろ保育園 柴山 俊行 清恵保育園 浅井 道浩 牛久みらい保育園 中村 康範 豊浦さくら保育園 佐藤 孝政 (アドバイザー) 後藤 貴哉	<b>委員</b> はずみ保育園 木村 有里 海の子保育園 川崎 えりか わかな保育園 大橋 久絵 ほうとく保育園 桜井 みな あおぞら保育園 石川 一幸 大和保育園 杉山 康宜 さしま保育園 中川 祐一 しろはと保育園 谷島 宏実	<b>委員</b> 瓜連保育園 小笠原 聖華 おくす船場こども園 鹿志村 茂 つばさ保育園 河野 明子 ひかり保育園 永田 真裕 軽野保育園 鈴木 寛奈 筑子保育園 中山 天公 小山保育園 逆井 康志 なかや保育園 河野 正亮	<b>委員</b> 金上保育園 白田 礼治 のぎく保育園 植竹 文人 四季の社保育園 森川 道成 旭保育園 浅倉 涼二 アリス保育園 卯木 真哉 元吉田さくら保育園 佐藤 聖梧 岩間保育園 柴山 純

- ◇ 広報委員会 (各種情報の取材と青年部広報誌「礎」の発行 他)
- ◇ 調査研究委員会 (施設経営or運営に係わる各種調査及び研究 他)
- ◇ 研修委員会 (視察や勉強会等の研修、企画及び運営 他)
- ◇ 渉外委員会 (独自企画によるイベント企画及び運営 他)



## 編集／発行

茨城県民間保育協議会青年部  
広報委員会

委員長 滝田昌弘  
副委員長 長谷川夏生  
山崎公蔵

委員 戸田見良／香取秀総  
佐藤孝政／新井順平  
柴山俊行／浅井道浩  
中村康範／後藤貴哉